

令和2年度活動報告について

- I 賢明な利活用及び地域振興検討合同部会（部会長・事務局 栃木市）
令和2年度活動報告 P 1
- II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会
（部会長・事務局 小山市） 令和2年度活動報告 P 3
- III 関連性のある既存組織との連携 P 5



第9回 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会
令和3年8月19日（木）
於：●●●●●●

I 賢明な利活用及び地域振興検討合同部会

(部会長・事務局 栃木市) 令和2年度 活動報告 1 / 2

具体的テーマ：「ラムサール10周年記念事業に向けた取組み」
「レンタサイクルの連携等について」「案内サインの検討」

第24回 合同部会 (令和2年9月23日) (書面による開催)

- ・令和2年度活動計画についてアンケートを実施
テーマ「ラムサール10周年記念事業に向けた取組みについて」「渡良瀬遊水地の将来像について」
「10周年以降の取り組むべき事項について」「ヨシ焼きの継続実施について」

第25回 合同部会 (令和2年11月25日) (書面による開催)

- ・第24回合同部会で実施したアンケート結果の概要を報告
- ・アンケート結果による幹事会で検討した方向性を報告
- ・利根川上流河川事務所より渡良瀬遊水地のトータルデザインの取組みについて紹介

第26回 合同部会 (令和3年1月22日) (書面による開催)

- ・ラムサール10周年記念事業について、幹事会で検討した内容を報告
- ・レンタサイクルの連携について、各市町及びアクリメーション振興財団との打合せ結果を報告
- ・利根川上流河川事務所より渡良瀬遊水地のトータルデザインの取組みについてアンケートを実施

第27回 合同部会 (令和3年6月23日) (書面による開催)

- ・ 第9回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会の報告事項確認
- ・ 利根川上流河川事務所よりトータルデザイン事業について報告

トータルデザインとは

渡良瀬遊水地の利用促進を個々の段階で検討するのではなく、

- 「① 素材・魅力 (利活用メニュー)」を、
- 「② 伝え (広報)」
- 「③ 快適に利用してもらう (受入環境、案内)」ための、
- 「④ マネジメント (①+②の運用方針)」を一貫してデザインすることをいいます。
最初にコンセプトを検討し、統一した考え・デザインで展開します。

《具体的なデザインの対象 (例)》

【利活用
メニュー】

※渡良瀬遊水地で
見せたいもの、
伝えたいこと
・体験プログラム
・地域活動 等

【広報媒体】

・エンブレム
・アプリケーション
(パンフレット、
チラシ、パネル等)

【広報活動】

・メディア掲載
・観光アプリ 等

【受入環境・
案内】

・サイン計画
・看板
・観光アプリ

渡良瀬遊水地の利用促進
(ブランドづくり)

図 取組の体系図

現在地が第2調節池を表す

景観と看板の方向が合うよう、
ヘッドアップ型 (進行方向が地図の上にな
る) で制作



第2調節地の堤防上に設置された案内サイン看板 (令和3年3月)

II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会 (部会長・事務局 小山市) 令和2年度活動報告 1/2

具体的テーマ：「野鳥の生息環境の保全」、「遊水地のガイドブック等(英語版含む)」、「普及啓発のための人材育成」

第24回 合同部会 (令和2年9月23日) (書面による開催)

- ・今年度事業の具体的な内容や今後の進め方を示し、アンケートを実施
- ・「わたらせシールラリー2020」の1年延長について提案しアンケートを実施

第25回 合同部会 (令和2年11月25日) (書面による開催)

- ・負傷したコウノトリ「歌」の保護～死亡までの経緯を報告
- ・コウノトリのヒナ誕生記念切手について郵便局と調整であることを報告
- ・ヨシ焼き前クリーン作戦の実施計画(案)の作成・報告
- ・「わたらせシールラリー2020」の1年延長決定について報告



シールラリーチラシ (1年延長後)



コウノトリのヒナ誕生記念切手



ヨシ焼き前クリーン作戦実施箇所の検討

II 遊水地保全・再生及び人々の交流・教育・普及啓発検討合同部会 (部会長・事務局 小山市) 令和2年度活動報告 2/2

第26回 合同部会 (令和3年1月22日) (書面による開催)

- ・コウノトリに関する情報提供
渡良瀬遊水地への飛来情報、「ひかる」と「レイ」のペアリング、「歌」のはく製、コウノトリのヒナ誕生記念切手の発売について報告
- ・ヨシ焼き前クリーン作戦の実施計画について、開催通知、実施計画(案)の報告と、作業場所選定のためのアンケートを実施

第27回 合同部会 (令和3年6月23日) (書面による開催)

- ・令和3年度事業計画についてアンケートを実施し意見聴取
- ・令和3年3月29日にコウノトリ「ひかる」・「レイ」ペアに、ヒナが誕生し、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会にご協力をいただいて、ヒナの愛称が「りょう」「のぞみ」と決定したことについて、小山市から報告、御礼



「歌」のはく製



210522レイとヒナ



ヒナの愛称募集チラシ

「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会（以下、「本協議会」という。）」の取り組みは、関連性のある既存の組織との連携によって、シナジー効果が期待できる。

既存組織①

「渡良瀬遊水地エリアエコロジカル・ネットワーク推進協議会、渡良瀬遊水地エリア検討部会」

トキやコウノトリなどを指標とした河川（渡良瀬遊水地を含む）及び周辺地域で、多様な生物の生息可能な自然環境の保全・再生方策を推進し、賑わいのある地域振興・経済活性化方策に取り組むとともに、広域連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワークの形成による魅力的な地域づくりを実現することを目的としている。

既存組織②

「渡良瀬遊水地湿地保全・再生検討委員会」

渡良瀬遊水地の湿地環境等、自然環境の適切な管理のあり方等を検討することを目的としている。

上記①及び②の組織は、設立の経緯や目的が異なっていることから、各々が独立した組織として機能していたが、本協議会の目的である「渡良瀬遊水地のラムサール条約登録を踏まえ、「湿地の保全」、「湿地の賢明な利用」を図るため、治水機能の向上と継続的な自然環境の保全及び様々な利活用の促進に関し、関係機関及び周辺の住民等が十分に協議を行う。」を実践するため「コウノトリを初めとする鳥類」の生息環境の保全・再生推進の観点からも、今後は積極的に情報の発信・交換を行い、連携を図っていくことが、第7回協議会において決定した。

【R2年度の実施報告】

・上記の情報の発信・交換を効果的に実施することを主たる目的として、渡良瀬遊水地保全・利活用協議会規約第12条に定める「幹事会」に、上記①及び②の組織の構成員を兼ねている本協議会構成員（部会構成員を含む）の作新学院大学女子短期大学部 青木教授に継続してご出席いただいた。

（令和元年度からの試行）